

地方創生加速化交付金 効果検証シート

担当部局課名 経済部農林課

A. 基礎情報

(単位：円)

| 加速化交付金対象事業の名称 | 総事業費 (事業実績額) | 加速化交付金充当額 | 一般財源 |
|---------------------|-----------------|-----------|-----------|
| 安心で美味しい！ぬまたの特産品推進事業 | 9,901,057 | 6,260,000 | 3,641,057 |

| 総合戦略における位置付け | | 事業開始 | 事業終期 |
|--------------|------------------|---------|---------|
| 基本目標 | 目標1 安定した雇用を創出する | 平成28年4月 | 平成29年3月 |
| 施策 | 施策1-1 地域産業の競争力強化 | | |

| | |
|------|--|
| 事業概要 | <p>■農産物ブランド化及び6次産業化推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ブランド化推進事業 210,000円 農産物のブランド化を推進するため、ブランド農産物認証事業を行うための経費 ○情報発信販路拡大事業 3,050,000円 ブランド農産物及び6次産業化産品等の情報発信・販路拡大のために必要となる経費 ○商品開発事業 3,000,000円 農産物を活用した商品開発及び新たなサービスを開発するために必要となる経費 |
|------|--|

B. KPIの設定・成果

○本事業における重要業績評価指標（KPI）の設定、及び成果の確認 【担当課】
2. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称、意味付け、当初値・目標値・実績値等について記入。

| | KPI1 | KPI2 | KPI3 | KPI4 | KPI5 |
|----------------------------|---|---|---------------------------|---------------------------|-------------------------------|
| ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称 | ブランド農産物認証数 | 新規販路開拓 | 新商品開発取組件数 | 新規開発商品販売数量 | |
| KPIの意味付け | イ. KPIの分類 | ③交付金事業のアウトカム | ③交付金事業のアウトカム | ②アウトプット | ③交付金事業のアウトカム |
| | ウ. KPIの対象 | ②沼田市単独 として目指す水準 | ②沼田市単独 として目指す水準 | ②沼田市単独 として目指す水準 | ②沼田市単独 として目指す水準 |
| I. 事業実施計画の申請時点での、KPIの当初値 | 当初値 [単位] | 30 件 | 3 件 | 50 件 | 0 個 |
| | 計測年月 | 平成 28年 2月 | 平成 28年 2月 | 平成 28年 2月 | 平成 28年 2月 |
| 事業実施計画の申請時点での、KPIの目標値設定 | オ. 本事業終了時点 (平成29年3月) | 5 件 | 10 件 | 10 件 | 1,000 個 |
| | カ. 数年後 | 20 件 目標年月 平成 32年 3月 | 40 件 目標年月 平成 32年 3月 | 40 件 目標年月 平成 32年 3月 | 10,000 個 目標年月 平成 32年 3月 |
| 本事業終了時点での、KPIの実績値 | キ. 備考欄 | 目標値や目標年月を、半角数字で記入することが出来ない、その他上表に記載困難な場合には、以下備考欄をご活用ください。 | | | |
| | ク. 設問オの目標値に | ①目標値を達成 | ③目標値の5割以上達成 | ①目標値を達成 | ①目標値を達成 |
| ケ. 本事業終了時点 (平成29年3月) | 実績値 [単位] | 49 件 | 6 件 | 87 件 | 20,000 個 |
| | 計測年月 | 平成 29年 3月 | 平成 29年 3月 | 平成 29年 3月 | 平成 29年 3月 |
| コ. 備考欄 | 実績値や年月を、半角数字で記入することが出来ない、その他上表に記載困難な場合には、以下備考欄をご活用ください。 | | | | |

○交付金事業の地方創生への効果 【担当課】
3. 設問2のク設問オの目標値に対する達成度合いの回答結果を踏まえた総合的な判断の上で、本交付金事業の地方創生への効果について記入。

| | | | | | | | | | |
|-------------------|---|-------------------|---------------------------------------|-------------------|---|---------------|--|-------------------|--|
| 事業効果 | | | | | | | | | |
| ②地方創生に相当程度効果があった | <p><凡例：選択肢></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>① 地方創生に非常に効果的であった</td> <td>例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合</td> </tr> <tr> <td>② 地方創生に相当程度効果があった</td> <td>例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合</td> </tr> <tr> <td>③ 地方創生に効果があった</td> <td>例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合</td> </tr> <tr> <td>④ 地方創生に対して効果がなかった</td> <td>例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したと言えないような場合</td> </tr> </table> | ① 地方創生に非常に効果的であった | 例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合 | ② 地方創生に相当程度効果があった | 例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合 | ③ 地方創生に効果があった | 例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合 | ④ 地方創生に対して効果がなかった | 例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したと言えないような場合 |
| ① 地方創生に非常に効果的であった | 例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合 | | | | | | | | |
| ② 地方創生に相当程度効果があった | 例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合 | | | | | | | | |
| ③ 地方創生に効果があった | 例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合 | | | | | | | | |
| ④ 地方創生に対して効果がなかった | 例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したと言えないような場合 | | | | | | | | |

C. 事業を進める中での課題・苦勞、及びそれに対する取組の修正・改善

4. 事業を進める中での課題・苦勞について。【担当課】

| | |
|-------------------|----------------|
| 事業を進める中での課題・苦勞の有無 | ①課題・苦勞があった |
| <凡例：選択肢> | |
| ① | 課題・苦勞があった |
| ② | 課題・苦勞はほとんどなかった |
| ③ | 課題・苦勞は全くなかった |

4-1. 設問4で「①課題・苦勞があった」と回答の場合、以下の中から、特に苦勞したことを最大で3つまで記入。

| | |
|----------------|---------------------------------|
| 特に苦勞したこと（3つまで） | ①事業推進体制の検討 |
| | ②事業経営や技術ノウハウを有する人材の確保・育成 |
| <凡例：選択肢> | |
| ① | 事業推進体制の検討 |
| ② | 事業経営や技術ノウハウを有する人材の確保・育成 |
| ③ | ビジネスモデル・資金繰りの検討 |
| ④ | 事業実施場所（施設・設備）の検討 |
| ⑤ | 規制・許認可への対応 |
| ⑥ | 庁内・組織内（幹部、原課、財政課等）との調整・合意形成 |
| ⑦ | 庁外・組織外（地域内・地域外の事業者、住民）との調整・合意形成 |
| ⑧ | 連携先の地方公共団体との調整・合意形成 |
| ⑨ | その他（例：予期せぬ外部環境変化が起こった等） |

※⑧については、広域事業の場合のみ選択。

「⑨その他」を選択した場合は、その内容を具体的にご記入。

4-2. 設問4-1の課題・苦勞に対応して、取組の修正・改善を行った場合、その内容について、可能な範囲で具体的に記入。

注）事業実施計画の申請時点での想定との相違点に対し、修正・改善により取組を前進させた点を記入。

| |
|--|
| 事業計画時には詳細な実施内容まで練り込まれておらず、事業の実施はスムーズに進まなかったが、行政や農業関係者のみでなく菓子組合等、他業種と連携することにより新たな商品開発を行い、取り組みの推進を図った。 |
|--|

D. 今後の事業展開方針

5. 本事業の今後の方針について記入。【担当課】

| | |
|----------|---|
| 今後の方針 | ①事業の継続（計画通りに事業を継続する） |
| <凡例：選択肢> | |
| ① | 事業の継続（計画通りに事業を継続する） |
| ② | 事業の発展（事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる） |
| ③ | 事業の改善（事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う（または、行った）） |
| ④ | 事業の中止（継続的な事業実施を予定していたが中止する（または、した）） |
| ⑤ | 事業の終了（当初予定通り事業を終了する（または、した）） |

E. 効果検証

○外部組織による効果検証

6. 外部組織による効果検証（沼田市市民構想会議）

| | | | | | |
|----------------|----|---|----|---------------|---------------------------|
| 外部組織による効果検証の時期 | | | | 外部組織による本事業の評価 | |
| H | 29 | 年 | 10 | 月 | 地方版総合戦略のKPI達成に有効であった、との意見 |

<凡例：選択肢>

| | |
|---|-----------------------------|
| ① | 地方版総合戦略のKPI達成に有効であった、との意見 |
| ② | 地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えない、との意見 |

| | |
|------|--|
| 主な意見 | |
|------|--|